

J R 総連通信

2022年11月15日 No.1594

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

J R 総連第22回

情報通信関係労働組合交流会を開催！



11月13日～14日、第22回情報通信関係労働組合交流会をJR東労組仙台地本会議室にて開催しました。会議には、JR北海道労組システム開発分会、鉄道情報システム労働組合、JR東日本情報システム労働組合の仲間が参加しました。

単組報告・全体討論では、「コロナ禍によって制限された組合活動を通常に戻していく過程での苦勞やオンラインでのレクリエーション開催など創意工夫した取り組み」をはじめ、「システム屋だから長時間労働は仕方ないと言った風土があるが、これを断ち切るために、原則的に36協定を遵守する取り組みをおこなってきた」など、議論は多岐に渡りました。

また、2023 JR総連春闘にむけて、小林政策・政治部長より問題提起をおこない、「日本の労働者の賃金はほぼ横ばいを推移している。令和4年の年収中央値は374万円と1994年の505万円から131万円もダウンしている。逆に非正規雇用の全労働者人口に占める割合は1995年の17%から40%にまで増えている。労働者の賃金は増えないなか、役員報酬が1億円を超える企業は、2010年の166社から287社へと増えている。昨今の春闘は政労使会議の影響を受けているが、これを見ても誰のための政労使会議になっているのか一目瞭然だ。騙されることなく堂々と要求を掲げ、JR総連の旗のもと連帯してたたかおう」と呼びかけました。

2日目は、3.11東日本大震災の影響を受けた松島地区の現地踏査をおこない、各単組とも今後の決意を固めあい、第22回情報通信関係労働組合交流会は成功裡に終了しました。

